



<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

FEBRUARY 3 2022 NO. 2560

平和構築と紛争予防月間

☆☆ 今日のプログラム ☆☆

- 1) 例会 (2560回)
- 2) 国旗およびロータリー旗に礼
- 3) ソング 君が代・奉仕の理想
- 4) 卓話 平和構築と紛争予防月間記念卓話  
 「私が現地で感じた風～カンボジア編～」  
 大阪天満橋ローターアクトクラブ  
 会長 今西 彩乃様  
 国際奉仕委員会

次週(2月10日)のお知らせ

- 1) 例会 (2561回)
- 2) ソング ロータリー讃歌
- 3) 卓話 「南海トラフ巨大地震に賢く備え、  
 楽しく生き延びる知恵」  
 京都大学名誉教授  
 京都大学レジリエンス実践ユニット特任教授  
 鎌田 浩毅様  
 在本 茂会員紹介

☆☆ 2月度のお誕生日 ☆☆

5日 坂東 信幸 15日 望田 謙三  
 19日 高橋 俊起 28日 郡 悦清  
 (以上敬称略)

☆☆ 先週の例会報告 ☆☆

☆☆ 会長報告 ☆☆

新型コロナウイルスの再度拡大に伴い、病床のひっ迫、一般医療との両立の困難という状況に、大阪府、兵庫県、京都府も、まん延防止等重点措置を要請し、適用されました。当クラブでは通常例会、理事会については現在のところ開催の予定と致しますが、会員の皆様には、体調などに留意のうえ、出席の判断をお願い致します。また今後例会開催などにご意見ございましたらお聞かせ頂きますようお願い致します。

今月は職業奉仕月間です。企業にはCSRとして企業は社会的責任を果たし社会に還元するとともに発展することが見直され、企業のトップがロータリーで活動するのもそういった意味合いである事と思えます。

先日、西田会員の独演会が神戸国際会館にて開催され寄せて頂き、老若男女大いに笑い楽しませていただきました。笑いというものは健康に良いそうで、老人ホームなどで演芸会などがなされ、皆が楽しんで健康に役立つ、そういう仕事というのも大変意義のある素晴らしいものであると思えます。ロータリアンは職業上の高い

倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会として各自の職業を高潔なものとする事とあります。昨今のロータリアンが減っているという事象に、改めてこれからの職業と奉仕の在り方を考えさせられる月間でありました。

☆☆ 幹事報告 ☆☆

- ① 「2020-21年度年次報告書」を本日お配りしております。
- ② 「2021-22年度 下半期会費のお願い」をさせて頂いております。お振り込み宜しく願いいたします。
- ③ 本日例会終了後「2月度定例理事会」を4F「銀扇・銀嶺の間」にて開催いたします。関係各位宜しく願いいたします。

☆☆ にこにこ箱 ☆☆ 敬称を略す

本日卓話させて頂きます 山本 喬一  
 結婚記念日自祝 溝手 悟  
 結婚記念日自祝 柳澤 興平  
 山本喬一会員、本日の卓話楽しみにしています 中川 政照  
 山本会員、卓話楽しみにしています 中村 健輔  
 山本委員長卓話楽しみにしています 望田 謙三  
 山本さん卓話楽しみにしています。 坂口 雅俊  
 令和4年1月27日 合計金 28,000円  
 累計金 1,253,840円

☆☆ 出席報告 ☆☆ ( ) 内は会員総数を基準とした値

国内ビジター	0名	会員総数	43名	1月27日の出席率	66.67%
国内ゲスト	0名	会員出席	26名(39名)	4週間前(1月6日)の	
外国ビジター	0名	出席規定適用免除	18名	メイクアップを含む出席率	84.21%
外国ゲスト	0名	会員欠席	13名	メイクアップ実施会員	0名(欠席者6名)

☆☆ 先週(1月27日)の卓話 ☆☆

「趣味『ボート釣り』」

山本 喬一 会員

釣りといっても淡水での釣り、海での釣りがありさらに海釣りでも海岸での釣りもあれば船で沖に出て釣るものもあり各々で道具も釣り方も異なっています。その中で私は自分で船を操船し魚を釣る「ボート釣り」を趣味としています。この釣りは多種類の魚が釣れる、比較的大きな魚も釣れる、そしてなんといっても自分の技量で釣ったという実感が得られるという特徴があります。

ここに明治35年生まれで生涯を一本釣り漁師として活躍され晩年は各地を回り30年ほどの格差がある閉鎖的な漁業の世界でオープンに自分の漁法をひろめられた、石橋宗吉さんの語りを纏められた「一本釣り渡世」という本があります。手漕ぎの和船の時代から漁師をされているので今の「ボート釣り」比較が面白いです。

漁師の世界で特に釣り方に関しては閉鎖的で情報が入りにくくうまくするには大変な苦勞があったようです。天気や潮の流れについても永年の経験と勘で培う必要がありましたが、今私がやっているボート釣りでは、インターネットの豊富な情報で釣り方や道具さらには詳しい天気予報、潮流の情報が簡単に得られます。さらにはGPS機器や魚群探知機も比較的入手しやすく釣りポイントを簡単に記憶できます。

しかしネットなどで集めた情報をどのように活用するかは釣り人の腕にかかるところです。最近私は釣りごたえのある魚よりも食べたい魚を狙って釣りを楽しんでいます。さてうまく釣れるのでしょうか？

☆☆ 本日のランチメニュー ☆☆

河豚皮煮凝り コンソメゼリー寄せ 柚子 旨出汁  
揚げ蕪 蟹ひろす 帆立貝 豚バラ角煮  
スナッフエンドウ 人参  
鰯(かます)昆布 焼き鯖 あしらひ一式  
じゃこ御飯 香の物  
赤味噌仕立て(なめこ・若布・巻き麩)  
きなこプリン 粒あん載せ  
コーヒー又は、紅茶

平和構築と紛争予防月間に寄せて

国際ロータリー第2660地区 ガバナー 吉川 秀隆

(大阪RC)

「油断した！」最近こんなふうに叫んだことはありますか。皆さんは「油断」の語源をご存じでしょうか。

先日、私の所属する大阪RCの鳥井信吾会長から「不滅の法灯」の話をお聴きしました。鳥井氏は、比叡山延暦寺の比叡山法灯護持会会長をされています。「不滅の法灯」とは、一つ一つの灯火に教えがあり、その火を消すことは、その教えが消えてしまうことを意味するのだそうです。従って、教えを守り続けるために1200年以上にも亘って油を絶やさず、火を消さないようにしているのだそうです。日本の言葉の奥深さと素晴らしさを再認識しました。

しかし、日本社会の私たちの身近な場所で、この「油断」という言葉がどれほど日常に切実に使われているでしょうか。一方で、我々が支援をしている紛争地域では、「油断」は死に直結します。日本では横断歩道を渡るとき、運転しているときなど普段の生活の中に確かに危険が潜んでいます。しかし、紛争地域では、常に死に直面していると言っても過言ではないでしょう。日々、日本においても悲しいニュースが存在するのも事実ですが、24時間常に緊張しながら生活している人はほとんどいません。比叡山や紛争地域の様に、一時一時を真剣に向き合いながら生きている人が何人この国にいますでしょうか。そして、その大きな違いの中で生きている人々の価値観は、生き方はどう違ってくるのでしょうか。

様々な活動を通して紛争地域に奉仕活動をする事はとても大事なことです。しかし、それだけにとどまらず、紛争を肌で感じる事ができない日本人に、命や平和のありがたさを知ってもらおう活動をしなければならないでしょう。どこかの国が風邪を引けば全世界が風邪をひいてしまうと言われている今、単に日本のことだけに目を向けていい時代では決してありません。平和構築のために人々の理解を深め、支援の輪を広げていきましょう。そのためにも私たちの周りに生き続けている教えの価値を再認識し、子供たちに伝えていきましょう。比叡山延暦寺が1200年以上にも亘って油を絶やさぬよう灯火を守ってきたように、私たちは、ロータリーの精神と日本の精神を通して、人々に大事な真の価値を伝え、世界の人々と共に平和を守り続けていきたいと思います。

(2021-22年度 RI2660地区 ガバナー月信2月号 より)